

## 2ポートHDMI®自動スイッチ – 4K

VS221HD4KA

DE: Bedienungsanleitung - de.startech.com

FR: Guide de l'utilisateur - fr.startech.com

ES: Guía del usuario - es.startech.com

IT: Guida per l'uso - it.startech.com

NL: Gebruiksaanwijzing - nl.startech.com

PT: Guia do usuário - pt.startech.com

## 製品概要

## フロントビュー

\*実際の製品は写真と異なる場合があります。



1. 入力選択ボタン
2. モード選択スイッチ
3. IRセンサー

## リアビュー



1. 電源アダプタポート
2. RJ-11シリアルジャック
3. EDIDコピーボタン
4. HDMI出力ポート
5. HDMI入力ポート (in1 & in2)

## パッケージの内容

- 1 x 2ポートHDMIスイッチ
- 1 x リモートコントロール
- 1 x ユニバーサル電源アダプタ (北米 / EU / UK / AUで使用可能)
- 1 x RJ11ケーブル
- 1 x RJ11 - DB-9シリアルアダプタ
- 1 x クイックスタートガイド

## 動作環境

- 2 x HDMI対応ビデオソースデバイス (HDMIケーブル付き) (Blu-rayプレーヤー、コンピュータなど)
- 1 x HDMI対応ディスプレイデバイス (ケーブル付き) (テレビ、プロジェクタなど)

オペレーティングシステム要件は変更される場合があります。最新要件は、[www.startech.com/VS221HD4KA](http://www.startech.com/VS221HD4KA)でご確認ください。

## インストール手順

**注意:** インストールを始める前に、HDMI対応ビデオソースデバイスとHDMI対応ディスプレイの電源が切れていることを確認してください。

1. 1本のHDMIケーブル (非付属品) でHDMIソースデバイスのHDMI出力ポートとHDMIスイッチのHDMI入力ポートを接続します。  
**注意:** 各ポートには番号が振られています。各HDMIソースデバイスに割り当てた番号を控えておいてください。
2. 1本のHDMIケーブル (非付属品) でHDMIスイッチの出力ポートとHDMIディスプレイデバイスに接続します。
3. HDMIディスプレイ、HDMIソースデバイスの順番で電源を入れます。
4. 付属の電源アダプタで電源とHDMIスイッチの電源アダプタポートを接続します。
5. (シリアル制御はオプション) 付属のRJ11ケーブルをRJ11 - DB-9シリアルアダプタに接続します。次にD9コネクタをコンピュータシステムの9ピンシリアルポートに接続します。
6. これで、HDMIスイッチをお使いいただく準備ができました。

## 操作

## 自動操作

HDMIスイッチには、最も最近起動された、またはHDMIソースデバイスに接続されたデバイスを自動的に選択する自動操作機能が備わっています。

新しいデバイスを接続するか、すでに接続されているデバイスの電源を入れるだけでビデオソースの切り替えを自動的にを行います。

## 手動操作

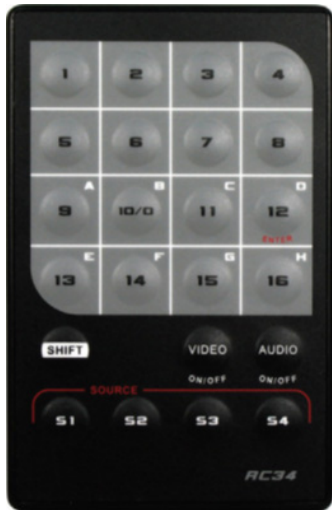
手動モードにすると、押しボタン操作によってビデオソースを切り替えることができます。

## ボタン選択による手動操作

スイッチ前面の入力選択ボタンを押して各ビデオソースデバイス  
を切り替えます。  
ビデオソースが切り替わると起動ポートのLEDインジケータが点灯  
するので、どのポートが選択されているのかが分かります。

## リモートコントロールによる手動操作

リモートコントロールの1または2を押してHDMIポートin1または  
in2をそれぞれ切り替えます。



## シリアルコントロールによる手動操作

1. シリアルポートを以下のとおり設定してください。

ボーレート: 38400 bps

データビット: 8

パリティ: 該当なし

ストップビット: 1

フロー制御: 該当なし

2. ターミナルソフトウェアを開いて、スイッチが接続されているシリアルポートを介して通信します。また、表示されるオンスクリーンコマンドを使用してスイッチの操作と設定を行います。

```

ABK - HyperTerminal
File Edit View Call Transfer Help
-----
Booting ..
-----
Digital Switch Splitter 4 x 1 (MIC30)
H/W version: 01 F/W version: 003-14
RC ID: none
-----
CE-n,a1,a2 - Copy EDID (Inventory) to all input ports
n: Method. a1,a2: Options
1. Copy from specified monitor a1
2. Copy from corresponding monitor (1 on 1)
3. Make 1024 x 768 EDID
4. Make 1280 x 800 EDID
5. Make 1280 x 1024 EDID
6. Make 1360 x 768 EDID
7. Make 1400 x 1050 EDID
8. Make 1440 x 900 EDID
9. Make 1600 x 900 EDID
10. Make 1600 x 1200 EDID
11. Make 1680 x 1050 EDID
12. Make 1920 x 1080 EDID
13. Make 1920 x 1200 EDID
14. Make 1920 x 1440 EDID
15. Make 2048 x 1152 EDID

when n = 1:
a1: monitor index (1~2), a2: not required
when n = 2:
a1,a2: not required
when n = 3~15:
a1: video options
1. DVI 2. HDMI(20) 3. HDMI(30)
a2: audio options
1. LPCM 2 ch 8. DTS 5.1 ch
2. LPCM 5.1 ch 9. DTS HD 5.1 ch
3. LPCM 7.1 ch 10. DTS HD 7.1 ch
4. Dolby AC3 5.1 ch 11. MPEG4 AAC 5.1 ch
5. Dolby TrueHD 5.1 ch 12. 5.1 ch combination
6. Dolby TrueHD 7.1 ch 13. 7.1 ch combination
7. Dolby E-AC3 7.1 ch

AVI=n - Select input port n as the source of all output ports
AVOEN=n - Enable output port n
n : 1 max - output port, * - All ports
AVODIS=n - Disable output port n
n : 1 max - output port, * - All ports
VS - View current settings
EQ=n - Set EQ level as n (1~8)
FACTORY - Reset as factory default setting
REBOOT - Reboot the device
More...
RCID=n - Set Remote Control ID as n
n: 0 - Reset as null (Always on)
1~16 - Valid ID
TI=n - Set terminal interface n: 0 - Human 167 - Machine
LCK=n - Lock / Unlock device n: 0 - Unlock 167 - Lock
000
?_

```

## FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合(干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます)、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします:

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

本デバイスは、FCC規格Part 15に準拠しています。お使いの際には、次の注意事項をよくお読みください。(1) 本デバイスが有害な干渉を引き起こすことはありません。(2) 本デバイスは予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければなりません。StarTech.comにより明示的に承認されていない変更もしくは改変を行った場合、本デバイスを操作するユーザー権限が無効になる場合があります。

## インダストリーカナダ準拠ステートメント

本クラスBデジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe [B] est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

CAN ICES-3 (B)/NMB-3 (B)

## 商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用することがありますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的のみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

## テクニカルサポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、www.startech.com/supportまでアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンライン工具、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

最新のドライバやソフトウェアは、www.startech.com/downloadsからダウンロードできます。

## 保証に関する情報

本製品は1年間保証が付いています。

StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

## 責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害(直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。